

抗議文

NHK から国民を守る党党首 立花孝志殿

令和元年九月十日、貴殿は自党内で起きたどうでもいい脅迫事件について、東京都中央区議会に向かった際に囲み取材を受けている。その際に、竹島に関する不穏な発言があったことについて、ここに嚴重に抗議するとともに、後付けの言い訳動画を上げるのではなく、まずもって自身の不見識な発言を広く国民に謝罪し、また竹島問題に地道に取り組んできた多くの人たちに伏して己の馬鹿さ加減について許しを請うことが先決であると申し伝える。

貴殿の発言については別紙において、その内容をすべて発言通りに抜き出している。貴殿の熱心な信者らが「立花はそんなことを言っていない」「フェイクニュースだ」「立花は『竹島は日本領土だ』と言っている」などの妄言を広めているが、これを見てもまだ言い訳をする気だろうか？そもそも、本気で竹島を日本領土と考えているなら、なぜ「竹島を捨てる論議」を国民の間でしなければならぬのか？貴殿の無識、無学ぶりを嘲笑っているのではなく、過ちを認めるのであれば、直ちに過ちを改める努力をすべきだと主張しているのである。

今回、貴殿が一私人として発言したものであるなら、こうして抗議文まで作成して責め立てることはない。しかしながら、すでに貴殿は国会議員という公職に就き、その俸給を受けている身である。過日、その俸給額を見せびらかしていたようだが。国会議員とは全体の奉仕者、国益を守る役職である。その役職者が、国益を損なうと捉えられかねない発言を行うことは、断じて許容できるものではない。

韓国を喜ばせたいならともかく、国益を守るという意思があるのなら、先述のとおり、言い訳動画を YouTube に上げるのではなく、まずは国民各層に己の発言を謝罪し、自身の竹島に関する無知蒙昧な見識を恥じ入ることが肝要である。なお、蛇足ではあるが、民法上の取得時効と領土問題は関係ない。また、仮に貴殿の主張する取得時効に当てはめても、日本政府は韓国に対して毎年竹島の不法占拠に抗議しており、貴殿の言うところの取得時効の構成要件である「『平穩かつ公然と』二十年間占有を続ける」にすら当てはまらない。